

四世 今藤長十郎 長唄三味線公演 開催報告

『社の中の文化祭』の一貫として、今年度から様々な試みで、皆様に伝統芸能の世界をお届けしております。

「長唄・三味線公演」第2回目となる今回は、前回に引き続き、素敵な佇まいの日本家屋を会場として、今藤流家元 四世 今藤長十郎さんをお迎えしてご公演いただきました。満員のお客様をお迎えし、皆様に長唄の魅力をご堪能頂きました。

下記に、簡単ではございますが、当日の様子をご紹介します。

平成 21 年 8 月 吉日

(財)日本文化藝術財団 事務局一同

【開催概要】

■ 四世 今藤長十郎 長唄三味線公演

* 日本家屋・座敷で、長唄・三味線を満喫する贅沢な公演。

開催日時： 8 月 8 日(土) 17 時 00 分から 18 時 30 分まで

会 場： 目白庭園 赤烏庵

出 演： 四世 今藤長十郎、今藤郁子、杵屋秀子、今藤長由利

主 催： 財団法人日本文化藝術財団

助 成： 日本財団、全日本社会貢献団体機構

後 援： 京都造形芸術大学、東北芸術工科大学

参加者数： 60 名



会場の目白庭園



会場の赤烏庵に、たくさんのお客様にお越しいただきました。



家元のお話から公演はスタートしました。



1曲目は古典の「岸の柳」、2曲目は三世家元が作曲した「藤船唄」です。



特別に「大薩摩」の演奏も。

初めの2曲とは調子の違った曲で、お客様には長唄の様々な魅力をご堪能頂きました。



公演終了後は恒例の質問タイム。

家元の人柄にも魅了された、ひと味違った、和やかな雰囲気コンサートとなりました。

※赤烏庵について

目白の閑静な住宅街に、開設された本格的日本庭園です。

限られた空間の中に日本人の自然観を凝縮したこの庭では、池を回遊する園路の随所で自然の造形美に出会えます。水際に築かれた石垣の上には、数奇屋建築の『赤烏庵』が優雅にたたずんでいます。深山を思わせる滝や石組み、水上に浮かんだ『六角 浮き見堂』からの大海を見るような眺めが都会にいることを一瞬忘れさせてくれます。(豊島区ホームページより)

【参加者のご感想】

- ・音がとてもキレイでびっくりしました。
話しも分かりやすく、初めてでも聞きやすかったです。
- ・すばらしい音楽でした。ありがとうございました。
- ・日本の情緒を楽しみました。大変よろしいようで。
- ・初めて生の三味線演奏を拝見しまして、非常に感激しました。
日本の伝統音楽の一つとしてもっと世に広め、その素晴らしさを知らせればうれしいです。
本日はありがとうございました。
- ・初めてこのような日本伝統的な文化に接することができまして、大変感謝いたしております。
初めてですので、非常によかったと思っております。
- ・力強く、繊細な音でとても素敵です。
- ・正に江戸の粋とはこういうものなんだと思われる素晴らしい演奏でした。それにしても、長十郎さんの明るさはとても良いですね。
- ・伝統音楽（芸能）のすばらしさ、ありがとうございました。
又、多くの名人名演奏をお聞かせ下さい。
- ・先生の長唄を多くの方々にひろめ、日本を肌で感じてほしいとのご情熱・ご意思が伝わり感激しています。
聴かれた方々皆さん先生の芸に魅了され、日本の音楽について再認識、日本の文化について考えさせられたことと思います。勿論私もその一人です。「岸の柳」の佃の相方に興味を覚え「藤船唄」の美しい曲に酔いました。大薩摩の番外のご演奏も嬉しかったです。
先生のお話が伺えますことは大変にラッキーです。